



## ◆◆毛虫皮膚炎◆◆

毛虫に触れるとかゆみが激しく、一時的なものですので治療には通常の湿疹などの場合よりも強めのステロイド外用薬を使い、できるだけ短期間で改善させるようにします。また掻くことによって二次的に痒疹や、とびひを起こさせないように抗アレルギー剤の飲み薬を使用する場合もあります。

## ◆◆手足口病◆◆

この時期に増えてくる手足口病。この病気は特效薬は無く、特別な治療法はありません。経過観察をしながら、症状に応じた治療を行います。症状は軽いことが多いです。水ぶくれは約1週間から10日で乾き、大抵あとを残さず治ります。口の中が痛い時は、しみない食事にし、熱い物や酸味が強い物、硬いものは避けましょう。熱がなければ入浴して大丈夫です。手足口病は原因となるウイルスが一種類ではないため、一度かかっても免疫はつきません。一度かかったから大丈夫ではないので規則正しい生活をして病気に打ち勝つ体力をつけましょう!!!

## ◆◆水の事故◆◆

おすわりを始めた頃から3歳くらいまでに注意が必要です。10cmくらいの水溜りでも溺死することがありますので目を離さずに遊ばせてあげてくださいね。浴室のドアにチャイルドロックを設け小さいお子様が一人で浴室に入れないようにしたり、浴槽の近くに腰掛け椅子や洗い桶を置かないようにしましょう。お子様が幼い時期には浴室に残り湯を溜めたままにしておかないことも事故を防ぎます。

5月はGWもあり家族でお出かけする機会も増えることでしょう。小さいお子様だけで無く水の事故のニュースは毎年後を経ちません。水には十分に注意し、お子様から目を離さず、家族で素敵な思い出をたくさん作ってくださいね。



この時期の室内の温度に悩まれる方も多と思われるます。クーラーを上手に使用しているとダニの増殖もおさえられるようです。ドライなどにし、室内の湿度や温度の調整されてみてください。



## ◆◆夏に向けての準備◆◆

子どもによく見られる水いぼはウイルス性の皮膚感染症です。皮膚に小さな丸いいぼができます。水いぼは肌の接触や物を介して感染します。集団生活やプールで感染することがよくあります。特に脇の下、脇腹、股の付け根など皮膚と皮膚がすれ合うところによくできます。体中に広がり、他の子どもにうつたり、免疫力の低下している大人にもうつることがあります。当院では内服治療を行っていますが、すぐに効果が出るわけではないので、夏に向けて早めの治療をおすすめします。



## ◆◆子宮頸がんワクチン◆◆

ヒトパピローマウイルスは性経験がある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんを始め、肛門がん、膣がんや尖圭コンジローマ等多くの病気の発生に関わっています。ヒトパピローマウイルスへの感染を防ぐワクチンが子宮頸がんワクチンです。当院は4価ワクチンのガーダシルを使用しています。接種回数は3回です。2回目が初回接種から2ヶ月後、3回目が初回接種から6ヶ月後になります。

### ☆子宮頸がんワクチン定期予防接種

<対象> 小学6年生～高校1年生相当の年齢の女子  
対象年齢の間に3回接種してください。

### ☆子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種

子宮頸がんワクチンの定期予防接種は平成25年6月から令和3年11月までの間、国が積極的な勧奨を差し控えていたことから、接種を受ける機会を逃し、未接種あるいは接種回数が不十分である人がいると考えられています。対象の方は無料で受けることができます。

<対象> 平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれまでの女子  
※令和4年度に17～25歳になる方

<期間> 令和4年4月1日～令和7年3月31日

子宮頸がんワクチンは予約制になっておりますのでお電話でご予約お願いいたします。



## 『5月の代診の先生のお知らせ』



17日の火曜日の午後と25日の水曜日の診察は畠添先生となっております。診断書の記入や体重チェック、臍ヘルニアの診察の方は院長先生の診察日に来院していただくようお願いいたします。

『診療時間』月曜・火曜・木曜・金曜：9時～12時、14時～18時（17時30分受付終了） 予防接種専門外来：14時～15時  
水曜：9時～12時、土曜：9時～13時  
健康診断（4か月・10か月・1歳6か月）：月曜・火曜・水曜・木曜・金曜（予約制）

